

復活節第6主日特祷

私たちの贖い主である神よ、あなたは私たちを闇の力から救い出し、御国へと招き入れてくださいました。どうかその死によって私たちをいのちへと呼び戻された主が、つねに共におられ、私たちを永遠の喜びへと引き上げてくださいますように。父とともにおられ、聖霊の交わりのうちに一体の神であって、世々に生きすべてを治めておられる御子、私たちの主イエス・キリストによってお願いいたします。 **アーメン**

旧約聖書（代行）使徒言行録 16章9—15節

16:9 その夜、パウロは幻を見た。一人のマケドニア人が立って、「マケドニア州に渡って来て、私たちを助けてください」とパウロに懇願するのであった。10 パウロがこの幻を見たとき、私たちはすぐにマケドニアに向けて出発することにした。マケドニア人に福音を告げ知らせるために、神が私たちを招いておられるのだと確信したからである。

11 私たちはトロアスから船出してサモトラケ島に直航し、翌日ネアポリスに着き、12 そこから、マケドニア州第一区の都市で、ローマの植民市であるフィリピに行った。そして、この町に数日間滞在した。13 安息日に、私たちは町の門を出て、祈りの場があると思われる川岸に行った。そして、そこに座って、集まっていた女たちに話をした。14 ティアティラ市出身の紫布を扱う商人で、神を崇めるリディアと言う女も話を聞いていたが、主が彼女の心を開かれたので、彼女はパウロの話を注意深く聞いた。15 そして、彼女も家族の者も洗礼(バプテスマ)を受けたが、その時、「私が主を信じる者だと思いでしたら、どうぞ、私の家に来てお泊まりください」と言って、無理やり招き入れた。

詩 編 第67編

- 1 神が私たちを憐れみ、祝福し || その顔を私たちに輝かせてくださいますように
- 2 地があなたの道を知り || すべての国があなたの救いを知るために
- 3 神よ、もろもろの民があなたに感謝を献げますように || もろもろの民がこぞってあなたに感謝を献げますように

- 4 諸国の民は喜び祝い、喜び歌います || あなたがもろもろの民を公平に裁き、この地において諸国の民を導かれるからです
- 5 神よ、もろもろの民があなたに感謝を献げますように || もろもろの民がこぞってあなたに感謝を献げますように
- 6 地は実りをもたらしました || 神、我らの神が私たちを祝福してくださいます
- 7 神が私たちを祝福してくださいます || 地の果てに至るまですべての者が神を畏れ敬いますように

使徒書 ヨハネの黙示録 2 1 章 10、2 2 節—2 2 章 5 節

21:10 天使は、霊に満たされた私を大きな高い山へ連れて行った。そして、聖なる都エルサレムが神のもとを出て、神の栄光のうちに天から降って来るのを私に見せた。

22 私は、この都の中に神殿を見なかった。全能者である神、主と小羊とが神殿だからである。23 この都には、それを照らす太陽も月も、必要でない。神の栄光が都を照らし、小羊が都の明かりだからである。24 諸国の民は、都の光の中を歩き、地上の王たちは、自分たちの栄光を携えて都に来る。25 都の門は、終日閉じることがない。そこには夜がないからである。26 人々は諸国の民の栄光と誉れとを携えて都に来る。27 しかし、汚れた者、忌まわしいことや偽りを行う者は誰一人、都に入れない。小羊の命の書に名が書いてある者だけが入ることができる。

22:1 天使はまた、神と小羊の玉座から流れ出て、水晶のように光り輝く命の水の川を私に見せた。2 川は、都の大通りの中央を流れ、その両岸には命の木があって、年に十二回実を結び、毎月実を実らせる。その木の葉は諸国の民の病を癒やす。3 もはや呪われるべきものは何一つない。神と小羊の玉座が都にあって、神の僕たちは神を礼拝し、4 御顔を仰ぎ見る。彼らの額には、神の名が記されている。5 もはや夜はなく、灯の光も太陽の光も要らない。神である主が僕たちを照らすからである。そして、彼らは世々限りなく支配する。

福音書 ヨハネによる福音書 1 4 章 2 3—2 9 節

14:23 イエスは答えて言われた。「私を愛する人は、私の言葉を守る。私の父はその人を愛され、父と私とはその人のところに行き、一緒に住む。24 私を愛さない者は、私の言葉を守らない。あなたがたが聞いている言葉は私のものではなく、私をお遣わしになった父のものである。25 私は、あなたがたのもとにいる間、これらのことを話した。26 しかし、弁護者、すなわち、父が私の名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、私が話したことをことごとく思い起こさせてくださる。27 私は、平和をあなたがたに残し、私の平和を与える。私はこれを、世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな。おびえるな。28 『私は去っていくが、また、あなたがたのところに戻って来る』と言ったのを、あなたがたは聞いた。私を愛しているなら、私が父のもとに行くのを喜んでくれるはずだ。父は私よりも偉大な方だからである。29 事が起こったときに、あなたがたが信じるようにと、今、そのことの起こる前に話しておく。